

令和6年度 1学期始業式あいさつ

2, 3年生の皆さん、おはようございます。

そして、進級おめでとうございます。新しい学年、新しいクラスということで、気持ちを新たにしていることと思います。

この春、3月末でお世話になった9名の教職員がご退職やご転勤となりました。そして、4月から新たに9名の教職員をお迎えしました。あとで詳しく紹介します。午後からは79期生360名を迎えて、四條畷高校の令和6年度がスタートします。先輩として、79期生をしっかり導いてあげてください。

今日は進路に関して、ここ数年の本校の状況を踏まえて話をしたいと思います。

まず、この春に卒業した76期生の進路結果についてですが、現浪合わせて京大7名、阪大30名、神大22名、京阪神合計59名をはじめ、国公立大学に184名が合格しました。残念ながら、ここ10年でピークだった74期生と比べて、75期生、76期生と合格者数は減少しています。

個々で見れば、第一志望の大学に合格した人も沢山いました。76期生も初志貫徹で第一志望をめざして、最後まで頑張ってくれました。しかし、全体で見れば、伸びなかったという印象です。

では、なぜ伸びなかったのか？その要因は何か？色々あると思いますが、昨年度、76期生で特に目立ったのが欠席者の多さです。学校生活、毎日の授業を大切にできなければ、受験本番で力を発揮することはできません。これはクラブでもいえることです。毎日の練習に一生懸命取り組まなければ、力も自信もつかないし、試合で練習成果を発揮できません。私の40年以上の教員生活で、教えてきたほとんどの生徒に共通していることです。

逆に、第一志望に合格した生徒の大半は、欠席も少なく、毎日の授業を大切にしていました。昨年度、毎朝四條畷駅で見かける76期生がいました。その生徒はいつも参考書を片手にすき間時間を利用して学習し、学校到着後は理科棟の廊下で勉強していました。共通テスト後、話をする機会がありました。調子を聞くと、1, 2年生の時にしっかり勉強をしてこなかったと不安そうに話していました。しかし、その生徒は最後までそのストイックな生活を続け、見事第一志望の難関国立大学に合格しました。

進路に関して、新聞に投稿されたある大学生の話を紹介します。

「私は塾や予備校などで勉強した経験はなく、通っていた公立高校を頼りにしました。課題に積極的に取り組み、先生に質問し、進路資料室で受験情報を調べ、教材を借りました。塾に行けないから学校に頼ったというより、学校で十分だから塾に行かなかったという感覚で、恵まれていました。学校により事情は違うでしょうが、本来学ぶ場所は学校で、先生方は熱心に指導してくれるはずです。

受験勉強で一番身につくのは「自分を管理する能力」だと思います。目標大学を設定し、自分との差を認識し、近づくための計画を立て、努力する。この力をつけることこそが合格以上に大切です。将来役立ちます。・・・受験期は大きく成長でき、良い思い出です。塾などを否定するわけではないですが、自力でやり抜いたからこそ余計に感じる気がします。入りたい大学に合格するんだという強い思いを胸に楽しみながら勉強に励んでいただきたいです。」

これは、「先生・学校に頼れば大丈夫」という大阪府の大学生の話です。

皆さん、どうですか。受験勉強で一番身につくのは「自分を管理する能力」、「目標を設

定し、計画を立て、努力することが将来役に立つ」。私もその通りだと思います。塾や予備校に頼って、学校との板挟みになって、結局全然伸びない。塾や予備校に行くことが精神安定剤になってはいけません。

皆さんの先輩は言いました。「毎日の授業を大切にしながら、部活動、躰高祭など、高校生活を精一杯楽しみ、大学に合格するのが躰高の現役合格だ。毎日学校に来て、授業を受け、仲間と切磋琢磨しているから、しんどい時に支え合い、励まし合える」

77期生、78期生の皆さん、学校生活を毎日の授業を大切にしてください。それが希望する進路実現への第一歩です。そして、クラスでもクラブでも、励まし合い、支え合い、教え合い、互いに切磋琢磨しながら成長できるチームを作ってください。

では、皆さん、今年度も、授業や部活動、行事を大切に、自分を信じて、仲間を信じて、先生方を信じて、チーム躰高で前に進みましょう。期待しています。